

令和3年第1回定例夕張市議会

## 令和3年度 教育行政執行方針

令和3年3月9日

# 令和3年度 教育行政執行方針

1 はじめに	1
2 教育行政の基本目標	2
(1)確かな学力を身に付ける教育の推進	2
(2)豊かな人間性を身に付ける教育の推進	3
(3)健やかな心身を育む教育の推進	3
(4)人と人、地域と地域をつなぐ社会教育の推進	4
3 基本目標達成のための取組	4
(1) 確かな学力を身に付ける教育の推進	4
(2) 豊かな人間性と健やかな身体を育む教育の推進	6
(3) 小中高校魅力化の推進と特別支援教育の充実	6
(4) 学校・家庭・地域・行政の連携強化と働き方改革	8
(5) 社会教育・生涯学習の振興	9
4 子ども・子育て支援施策の継続性確保	10
5 石炭博物館模擬坑道について	10
6 おすびに	11

## 1 はじめに

令和3年第1回定例市議会の開会にあたり、夕張市教育委員会の教育行政執行に関する主要な方針について申し上げます。

昨年から世界中に広がった新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、国から示された「学校における新型コロナウイルス感染症に関する衛生管理マニュアル～『学校の新しい生活様式』～」による学校の行動基準や「新北海道スタイル」に従って、感染防止対策を徹底しながら、日常生活や学校教育及び社会教育活動並びに子ども子育て支援施策を推進してまいりました。

依然として、その収束が見えない中ではありますが、地域の宝であり大切な財産である未来を担う子どもたちの育成は、厳しい環境におかれている本市の将来に向けて「地域の自立化」と「持続可能なまちづくり」につながっていくものであり、そのための「教育への投資」は極めて重要であると考えます

令和3年度は、課題である「確かな学力の向上と豊かな心の育成」を重点に従来の取組を継続、発展しながら、新たに「小中高一貫ふるさとキャリア教育」に取り組むとともに、社会教育事業を充実させ、拠点複合施設「りすた」の賑わいの創出を積極的に推進してまいります。

## 2 教育行政の基本目標

今後、ますます変化していくと思われる社会に対応していく子どもたちを育成していくためには、一人ひとりに確かな学力を身に付けさせることがまず重要です。

本市の小中学生の学力は、これまでの全国調査や各種テスト等から、全国・全道平均に至っていないという結果が明らかになっています。従って、基礎学力の定着と向上は急務であり、一歩前に進んだ取り組みが不可欠です。

令和3年度における教育推進の基本目標は、こうした現状を踏まえ、新型コロナウイルス感染症防止対策を行いながら、自ら主体的に学習に取り組む姿勢の育成と家庭や地域との連携を基本に「確かな学力を身に付ける教育の推進」を重点的に図っていくほか、「豊かな人間性を身につける教育の推進」「健やかな身体を育む教育の推進」「人と人、地域と地域をつなぐ社会教育の推進」の4つを掲げ、着実に進めていく所存であります。

### (1) 確かな学力を身につける教育の推進

先にも述べたとおり、ゆうばり小学校、夕張中学校の学力の実態は全国・全道平均を下回っていることが明らかになっていることを踏まえ、基礎的な知識・技能の習得や思考力・判

断力・表現力の育成を基本としつつ、まず「自ら課題を見つけ、自ら学び、自ら考え、判断して行動する力」の育成に努めていかなければならないと考えています。

様々な問題に果敢に取り組み、積極的な学びで解決する力を身に付けることが出来る教育のあり方を追求してまいります。

## (2) 豊かな人間性を身につける教育の推進

本市の「子どもたちは、純粹で素直である」との評価があります。このことを大切にしながら「明るく、元気で礼儀正しく、心豊かでやさしい態度」と「社会に適応する協調性」を併せ持った「ゆうばりっこ」の育成に取り組んでまいります。

## (3) 健やかな身体を育む教育の推進

豊かな人間性に加えて重要なのは「健康でたくましい身体」を持った子供たちの育成であります。

地域に密着したスポーツの推進とそのためのスポーツ施設の整備・充実に可能な限り取組むとともに施設利用の促進に努めてまいります。

#### (4)人與人、地域と地域をつなぐ社会教育の推進

郷土の文化や芸能を保護し、歴史を重んじ愛する市民の育成が「再生夕張」には不可欠です。このため、生涯学習活動の強化や芸術鑑賞の機会提供などに取り組んでいく必要があります。

昨年オープンした拠点複合施設「りすた」をこのような活動の拠点として位置付け、社会教育の強化に取り組んでまいります。

### 3 基本目標達成のための取組

#### (1)確かな学力を身につける教育の推進

##### ○「ゆうばりっこ、学び育成プラン」の継続と充実

令和3年度は、中学校において新学習指導要領が完全実施となります。これに従い、小中がともに新たな教育課程のもと、昨年度策定した「ゆうばりっこ、学び育成プラン」を継続し、充実発展を目指しながら確かな学力を身に付ける教育を進めます。

「自ら進んで行動する力の育成」と「家庭・地域との連携」を基本に、引き続き「学ぶ意欲の向上」「小中協働の強化」「教師の授業力向上」の三点を包括的に取り組み、夕張の小中学生の基礎学力の定着と向上を力強く推進してまいります。

す。

#### ○学ぶ意欲の向上に向けて

基礎学力底上げのために少人数習熟度別授業など個に応じた指導の徹底をはじめとして、新学習指導要領の実施に伴うICTを活用した教育活動の推進、既習問題の解き直し（調査問題やチャレンジテストなど）、家庭学習の充実に取り組んでまいります。特にGIGAスクール構想の推進により、児童生徒一人に1台のタブレット端末が整備されます。授業における有効活用や家庭学習に活用する方策の検討、更にはデジタル教科書の活用検証事業に参加するなど、ICTの活用促進を図り、子どもたちの思考力や判断力、表現力や情報活用能力の育成に努めてまいります。

#### ○小中協働の強化に向けて

「小中連携学力向上プロジェクト委員会（通称：ユープロ）」の活動の促進並びに充実を通して、乗入れ授業の実施、合同研修の実践等を充実させ、小・中協働を強化して、9年間を通じた系統的、効果的な指導の在り方を追求してまいります。

#### ○教師の授業力の向上に向けて

「主体的・対話的で深い学び」への授業構築として、子どもたちの多様な考えを引き出す授業や「話合う・議論する」「発

表する」「〈見方・考え方〉を働かせる」などの指導方法を取り入れた授業実践に取り組むほか、教職員によるICT機器等の利活用のためのスキルアップに努めます。

また、外部講師の招聘やオンライン研修等への積極参加を促すとともに、夕張高等学校の実践や空知教育局指導主事訪問の要請などを通じた北海道との連携強化に取り組み、教師の授業力の向上に努めてまいります。

## (2)豊かな人間性と健やかな身体を育む教育の推進

次に、豊かな心及び健やかな身体の育成であります。子どもたちの健やかな成長のためには、他者への思いやりの気持ちや豊かな感性、社会的協調性、自己肯定感などを育むとともに、健康の保持増進と体力の向上が重要です。

このため、いじめや不登校を未然に防ぐとともに、規範意識を高める道徳教育の充実、「Q-Uテスト」を実施して子どもたちの実態把握をきめ細かく行うことや「ピア・サポート」を取り入れた道徳の授業や学級活動等の実践に取り組めます。

また、一昨年度の全国体力・運動能力テストでは、本市の児童生徒は複数の種目で全国・全道平均を上回る結果を得ており、これまでの取組の一定の成果が表れています。今後も、体力・運動能力向上のため、体育の授業改善や学校全体で取り組む体力向上策の展開、食育等を推進してまいります。



ます。

### (3)小中高校魅力化の推進と特別支援教育の充実

市長部局と連携を図りながら、夕張高校の進学実績の向上や部活動の活性化を図り、夕張高校の魅力化を推進し、夕張高校への進学率を高めようとして取り組んできました。しかし、市外を志望する傾向が毎年一定程度見られ、加えて急速な少子化により、未だ安定しているとはいえません。

一方、健全な子どもたちの育成は、地域の活性化には不可欠なものです。このため、教育の魅力化は高校にとどまるものでは決してありません。義務教育段階から高校へとつなぐ一連の支援を継続していくことが重要です。

本市では、3年前から企業版ふるさと納税による支援を受け、小中高一貫のマンツーマンオンライン英会話を継続し、ALTの活用も含め、身近な地域で英会話に挑戦できる機会の拡充などに努め、国際理解教育の充実を図っております。グローバル人材の育成と特色ある英語教育の実践は、夕張の子どもたちに自信と誇りの育成に直結するものです。

小中高一貫教育に関わり、令和3年度はマンツーマンオンライン英会話指導に加え、「ふるさとキャリア教育」をスタートさせます。これは、夕張の特性や良さを見直すとともに、まちづくりや地域の将来像を考えたり、情報活用能力や課題解決能

力を培ったりすることなどを目的に、地域の人材や教育資源を生かした系統的な学習に取り組む計画です。

また、近年、小中学校では特別支援学級の在籍者や通級指導を受ける児童生徒が増加しています。

特別支援教育は、一人ひとりの教育ニーズに応じた指導や支援が必要なことや、地域において長期的な視点から切れ目のない支援が行わなければならないことを踏まえ、対象となる幼児児童生徒等に対しまして、「ゆうばりっこ未来ファイル」の作成と活用を通して夕張市特別支援教育連携協議会など関係機関との連携を図り、充実した支援を行ってまいります。

#### (4)学校・家庭・地域・行政の連携強化と働き方改革

新しい学校づくりや学校を支える体制づくりのためには、地域学校協働本部事業との連携や地域の教育力の活性化が不可欠です。

事業開始より3年が経過した「夕張市学校運営協議会」は「家庭学習強調週間」や「夕張クリーンデー」など特色ある取組を行い、地域と学校をつなぐ大きな役割を有しております。

今後も「地域とともにある学校」づくりに向け、夕張ならではの支援体制の推進が必要との教育行政点検評価委員会から指摘のある課題も踏まえ、家庭や地域、行政と連携した取組について検討してまいります。

教職員の時間外勤務を削減し、教材研究や子どもたちと向き合う時間を確保するなど教師本来の職務に専念できる環境の構築は待ったなしの状況です。そのため、本年1月に「校務支援システム」を導入し、教職員の勤務時間の管理や成績処理などの公務を一元化するなど、本市における働き方改革を推進しております。令和3年度も、この取組を前進させ、教職員の職務環境の向上を図ります。

#### (5)社会教育、生涯学習の振興

子どもから大人まですべての市民が学べる生涯学習の実践と潤いのある生活実現のための社会教育事業の推進は極めて重要です。昨年オープンした拠点複合施設「りすた」を、このような活動の拠点として、「賑わいの創出」を目指します。

具体的には、新型コロナウイルス感染症対策を行いながら、新たに「未来を創る市民学習講座事業」などの社会教育事業の企画運営など、市民の学びの場として積極的に提供してまいります。また、市民サークル等と連携した「郷土愛教育事業」の実施、乳幼児と保護者、さらには小学生までの園児児童が気軽に集える「ゆうばりっこひろば」や「りすた図書館」の利用増に向けた活用促進など、子どもから大人まで幅広く利用していただける環境づくりの方策について追及してまいります。

また、今年度は「第6次社会教育計画」の最終年度に当たるため、次の第7次計画(R4～R8)策定のため、市民の声や学習ニーズの傾向を把握するアンケート調査を実施いたします。

さらに、健康増進や生きがいを実感するため、運動やスポーツに親しむ機会の充実を求める声に応えていくためにも、総合型地域スポーツクラブのサポートを行っていくとともに、スポーツ関連施設の維持や管理に必要な予算の確保と執行について努めてまいります。

#### 4 子ども・子育て支援施策の継続性確保

これまで教育委員会内に相談窓口を設置し、子育て世帯からの様々な相談に応じるとともに、必要な情報の提供や関係機関につなぐ役割を果たすなどの支援業務を行ってまいりましたが、新年度より当該業務が生活福祉課に移管となる予定であることから「子ども・子育て支援施策」に係る事務事業の引き継ぎをしっかりと行い、切れ目なく業務の継続化を図ってまいります。

#### 5 石炭博物館模擬坑道について

石炭博物館模擬坑道の復旧及び施設再開に係る、現在

の作業状況及び今後の対応について申し上げます。

一昨年4月に発生した坑道火災以降、この間様々な取り組みを実施してまいりました。

坑道内の排水作業、有識者による現地視察及び意見交換による坑道復旧プランの検討がその主な内容ですが、観覧坑道であるが故にこれまで以上の安全対策を講じるため、坑道内炭層の状況を詳細に把握するためのボーリング調査の実施とそれに伴う焼損物の撤去など、施設再開において一歩ずつではありますが着実に前進しております。

令和3年度は、ボーリング調査等の結果を踏まえ、坑道内の復旧をどのように図っていくかなど、課題解決と早期再開において有識者、学識者による助言を得ながら着実に作業を進めてまいります。

市民のみなさまには、深いご理解を頂戴いたしたく、この場をお借りいたしましてお願い申し上げます。

## 6 おすびに

以上、継続した課題の克服や新たに行う施策を重点的に取り組んでいく基本的な考え方に沿って、令和3年度の教育行政執行方針を述べさせていただきました。

コロナ禍は、私たちの生活様式を変え、教育環境にも大きな影響を与えています。新型コロナウイルス感染症による、

日々の暮らしへの影響はまだしばらく続くものと推察いたします。

また、小・中学校校舎やスポーツを主とする関連施設の整備に関しては老朽化による不具合等が著しくなっており、これらの課題は、予算編成時において解決が図られるようなものではございません。財政再生計画にしっかりと反映し、計画的に改善が図られるように、引き続き国や北海道と協議を重ねていかなければならない事案であると考えます。

そのような中、27年にわたり本市の幼児教育を担っていた市立ユーパロ幼稚園が、この3月をもって閉園いたします。四半世紀以上にわたり、“未来からの宝物”である夕張の子供たちを優しく、時には厳しく育み、元気で心豊かに育った園児たちを小学校に送り出してくれました。この4月からは「ゆうばり丘の上こども園」にその役目が引き継がれます。

厳しい環境下にある本市ではありますが、夕張市における教育を一步でも、二歩でも着実に発展させていくことを私の使命としながら、教育行政の舵取りをしっかりと担ってまいります。

市民のみなさま、そして市議会のみなさまには、引き続きご理解とご協力を賜りますよう心からお願い申し上げ、私の教育行政の執行方針といたします。